



15日(金)は天候もよく、朝休み、20分休み、昼休みには運動上で元気よく遊ぶ子どもたちの姿がありました。10月中旬ですが、日中の気温は30℃近くまで上がり、まだまだ半袖でも寒いと感じることはなく、過ごしやすい毎日が続いています。

さて、体育の授業では、少しずつ運動強度が上がってきました。運動強度の高い運動(短距離走・ハードル走)では、熱中症対策もふまえ、今後はマスクをはずすように指示していきたいと考えています。なお、コロナ禍が完全に収束したとはいえ、マスクをはずすことについて不安な気持ちや心配な気持ちのある子どもについては、マスクを着用することを可とします。集合などで子どもが集まったり、並んだりする場合には、感染拡大防止の観点からマスクを着用することとします。はずしたマスクはマスクケースに入れて保管をするようにします(マスクがポケットに入りきらない場合は、水筒の近くに置くようにします)。今後もさまざまな状況を考慮しながら、体育の学習を進めていきますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。



6年生が修学旅行に行ってきました。

10月13日(水)、14日(木)の2日間、6年生は松阪、伊勢、志摩、鳥羽方面へ一泊二日の修学旅行に行ってきました。コロナ禍において、12月への延期も検討していましたが、感染拡大も少し収束に向かいはじめ、予定通り修学旅行へと出発することができました。本居宣長記念館→斎宮歴史博物館→いつきのみや地域交流センター(昼食)→さいくうの杜→鳥羽水族館→ミキモト真珠島→鳥羽ビューホテル花真珠(宿泊)→海の博物館→志摩スペイン村(昼食含む)の順で訪問してきました。今回はその一部を紹介したいと思います(裏面に続きます)。

<出発式>

あいにくの雨のため、出発式は第一会議室で行いました。校長からは、①道徳的な行動が取れるように ②時間を守れるように ③全員健康で元気に戻って来られるように、という3つの話をしました。実行委員の進行で出発式を終えると、2台のバスに分乗して、最初の見学地である「本居宣長記念館」へと向かいました。

<本居宣長記念館(1番目)>

本居宣長さんは、1730年に松阪(坂)木綿を売るお店に生まれました。子どものときから本を読むのが大好きな人でした。仕事は「医者」で、自分の家で患者さんを診たり、往診したりし、薬も自分で作っていたようです。もう一つの顔は「国学者」で、「古事記」や「源氏物語」などといった、日本の古い本や言葉を調べていました。そんな三重県を代表する偉人です。子どもたちは館内ガイドさんの話を聞いて、修学旅行のしおりにしっかりとメモをしていました。

<斎宮歴史博物館(2番目)>

斎宮は6世紀頃にできた神宮を維持する体制の上に成立した組織です。斎王とは、天皇が即位すると皇族の女性の中から選ばれて伊勢に派遣され、伊勢神宮に仕える人のことです。斎王の第一のつとめは、伊勢神宮の祭に参加することでした。平安時代や鎌倉時代の物語の中には、斎王や斎宮のことが取り上げられている箇所があるそうです。斎宮歴史博物館では、館内ガイドさんに大画面で斎王に関する説明映像を見せていただき、その後グループに別れて展示見学を行いました。子どもたちは写真を撮ったり、メモを取ったりして、学習を進めていました。

<いつきのみや地域交流センター(昼食)、さいくうの杜(3番目)>

いつきのみや地域交流センターで昼食をとり、昼食休憩後、「さいくうの杜」で学級ごとに記念撮



影をしました。子どもたちは一旦マスクをはずし、笑顔をつくったり、ピースをしたり、それぞれの表情で写真撮影にに応じていました。

<鳥羽水族館（４番目）>

鳥羽水族館にはさまざまな水槽があり、子どもたちが手を入れて、魚の感触を楽しめるコーナーがありました。ヒラメが思ったよりも大きく、子どもたちは指がふれる瞬間、怖がっているようにも見えました。小魚は泳ぎがすばしっこくて、なかなか指でふれることはできなかつたようです。「カピバラがいるっ」って叫んでいる子どもたちもいて、エサを食べているカピバラがいました。カピバラはアマゾン川流域に住んでいて、『草原の主』という意味があるそうです。また、「かわいい」って声のする子どもたちのそばに行くと、コツメカワウソがメスとオスのペアで仲よくじゃれ合っていました。あまりにもかわいいので、私もしばらくじっとながめてしまいました。

<ミキモト真珠島（５番目）>

ミキモト真珠島では、万華鏡づくりの体験をしました。３つの鏡を１ミリ間隔でつなぎ合わせ、それを三角柱にして、円柱の筒に入れました。最後に自分の好きなスパンコール（光を反射させるために使用する穴のあいた金属やプラスチックの小片のこと）を５つ入れ、ふたをして完成しました。子どもたちは、筒の中をながめて「おーっ」と声をあげていました。



<鳥羽ビューホテル花真珠（宿泊）>

１日目の行程を無事に終了し、ホテルに到着しました。体調をくずしている子、ケガをしている子はいませんでした。夕食の前には、旅館の支配人さんから料理の紹介がありました。夕食は、すき焼き、ハンバーグ、エビフライ、茶碗蒸しと、豪華な夕食でした。ご飯のおかわりも大丈夫でしたので、多くの子がご飯のおかわりをし、中には５杯もおかわりをしている子がいました。夕食後は順番に入浴をし、２１時までに入浴を終え、２２時頃に消灯、就寝をしました。

２日目は、部屋から見える海の景色がとってもきれいでした。きっと子どもたちもこの景色を見て、心洗われていたのだと思います。身支度を済ませ、７時から、肉団子、シューマイ、レタス、味噌汁、オレンジ、パイナップルと、食べごたえのある朝食をとりました。その後出発式をし、旅館を出発しました。旅館を出発するときには、従業員の皆さんが手を振ってお見送りをしてくれました。

<海の博物館（６番目）>

海の博物館では、漁法について映像を見たり、館内ガイドさんから説明を受けたりしました。アワビ、サザエ、ナマコ、海藻をとる海女（あま）さんは海を２０メートルも潜っていることや、漁船がカツオ漁に出て、往復７時間かかっても魚の群れに出会えず、魚が一匹もとれずに戻ってくることがあることも教えていただきました。海で働く人たちは、大変な苦勞をして私たちの身近な食生活を支えていただいていることがわかりました。また、海の博物館では、貝殻を使ったマグネットづくりを行いました。２つのマグネットに貝殻をのせてデザインしていき、最後にボンドをつけて完成させていました。



<志摩スペイン村（７番目）>

本校が訪問していた時間帯は、約２５００人の訪問者があつたようです。演芸ホールではキャラクターショーが行われていたのですが、子どもたちはアトラクションに乗ることやおみやげ選びに夢中になっているのか・・・、誰も見かけませんでした。またの機会に一度見てほしいと思います。本当に素敵でしたよ。

<解散式>

学校に戻ると実行委員の進行のもと、解散式を行いました。私からは「６年生の一泊二日の修学旅行は、全員体調をくずしたり、ケガをしたりすることなく、無事帰ってくることができました。思い出もたくさんできたことと思います。約束をしていた３つの『時間を守ること』『全員が無事に帰ってくること』『道徳的な判断をすること』は、概ね守ることができました。皆さんにとって、充実した中身のある修学旅行にすることができたのではないかと思います。修学旅行の２日間を通し、仲間と寝食を共にし一緒に行動することで、お互いの絆が深まったのではないかと思います。６年生の皆さん、本当にお疲れさまでした」といった話をしました。

◇最後に・・・・・・・・◇

保護者の皆様、子どもたちの送迎へのご協力、本当にありがとうございました。子どもたちは迎えを待つことなく、スムーズに帰宅できたようです。心から感謝いたします。（文責 北住 昌文）